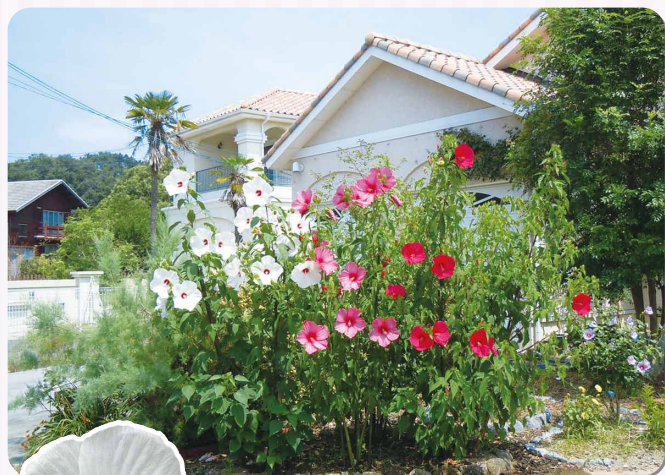




【エルブ】目の無い純白の中大輪（21cm）で花型も整って非常に爽やか。白い妖精エルフの名にふさわしい気品あふれる花です。夕方6時頃まで咲き続けるのも特長です。

【ネオン】桃紅色で花弁の裏側の中心部が白くなる裏白タイプ。少し離れて見ると目の周りが明るく光って見えるので、ネオンと命名しました。夕方5時頃まで咲き続けます。

【レイア】明るいピンクの巨大輪（25cm）

鉢植えなら8号（直径24cm）以上の大きなものを使います。水も肥料も多めを好むので、どちらもたっぷりを与えましょう。鉢植えの場合、夏は良く乾くので大きめの受け皿を使って腰水にしておくことで、灌水が楽になります。成長すると倒れやすくなるので、植えつけの時に前もって支柱をしておくとい良いでしょう。

植えつけの時、特に重要なのが、株元



タイタンビカスに期待の新品種登場！

アカツカオリジナルの大型宿根草タイタンビカスは、ひと夏で人の背丈を超える成長の早さと次々と咲く大輪の美しい花で、夏の花としてすっかりおなじみになっています。

そんなタイタンビカスに待望の新品種が3種（エルブ、ネオン、レイア）登場しました。実はこの3品種、パビリオンでは昨年先行販売として少しだけ販売していたのですが、正式な発表と販売は今年からとなります。

で非常に目立ちます。草丈は1m程度のシヨートタイプですが横に枝が張り、どっしりとした草姿になります。夕方6時頃まで咲き続けるのも嬉しい特長です。

基本的な性質は従来のタイタンビカスと同様なので、日当たりの良いところに植えつけるのが基本です。成長が早く、株の広がりも1mほどになるので、他の植物とは間隔をあけておくほうが良いでしょう。

育て方

病気はほとんど出ないので心配はありませんが、ハマキムシが付きやすいので、オルトラン粒剤などの浸透移行性の農薬を定期的に散布しておくとい良いでしょう。冬の寒さには強いので、植えたままでも全く問題ありませんが、枯れた茎がそのまま残るので、11月には地上部を5cmほど目印として残し、刈り取ってしましましょう。

実は、さらに来年発売予定の最新品種も4種決まっています。現在増殖中ですが通販サイトの「花の音」では限定先行販売が決まっているので、紹介しておきます。

【ウラノス】ローズ赤の巨大輪（25cm以上）でタイタンビカス史上最大の花。人の顔ほどもある花は、天空の神ウラノスの名にふさわしい迫力があります。

【フレア】非常に鮮明で輝くような緋赤色整型大輪でタイタンビカス史上最高に美しい赤花。太陽のまわりで揺らめく炎のイメージからこの名を付けました。

【アイリス】爽やかなブラッシュピンクの中輪で、非常に美しい花。その美しさから虹の神アイリスの名を付けました。

【フレアデス】ややネオン系の底白ピンクで中大輪の花。枝数が多く、同時にたくさん花を咲かせる姿から、ギリシャ神話の7姉妹の名を付けました。

草花・山野草担当 はまぐち

今月の逸品

2018年6月

タイタンビカス アルテミス

当社の倉林が情熱をかけて育種したタイタンビカス！ここ5年間でずいぶん知名度が上昇しています。中でも、イチオシのアルテミスをご紹介します♪

①他にはない珍しい模様
単色の花色が多いタイタンビカスですが、アルテミスだけは白の花弁にピンク色の模様が風車状に入ります。思わず目惚れする可愛さ！

②コンパクト
巨神タイタンから名付けられたタイタンビカス。高さが2mに及ぶ品種が多い中、アルテミスはコンパクト品種の先駆けとして誕生しました。1m程に収まるので、鉢で育てたい方、目線の高さで楽しみたい方にぴったり♪

③早期開花
アルテミスはタイタンビカスの中でも一番早くから咲き始めます。6月から花が見られるので、得した気分ですね。

7月後半頃、枝が上に伸びず、咲く花が小さくなる「芯止まり」が起こります。大きな花を咲かせるために、枝をカットして元気な脇芽を出させてあげましょう！7月後半に各枝の先端 1/2～1/3 をカットする方法がオススメ。カットすることが刺激となり、新しい枝を出し始めるので、お花が長く楽しめますよ♪

花木・果樹担当 あさひ

植物活力素 メネデル

苗の植え付け時に活力液を与えていますか？肥料だけ与えていませんか？実は、植え付け時に大切なのは、肥料よりも活力液です。肥料は植え付けから2週間後に与えるのが一番効果があります。

活力液の中でも高い実績があるのが「メネデル」です。その名の通り、植え付け時に与えるとうどん芽、根がです。理由はメネデルだけに含まれるイオン化された鉄、「二価鉄」にあります。二価鉄は傷ついた根を修復し発根を促し、植物を強くしてくれます。そのため、肥料は根が出て植物が強くなった後に施すと効果的です。

これから訪れる夏は、植物にとって過酷な季節です。メネデルを使い、植物を強くして厳しい夏を乗り切りましょう。弱った植物にあげるのも有効です。

6月の講習会・園芸教室

6日(水)	●バラの講習会 講師：大野 耕生先生 参加無料 ツルバラ・モッコウバラの剪定と梅雨対策 ①10:30～②14:00～
9日(土)	●園芸講習会 講師：島岡 洋介先生(プロギムガーデン) 参加無料 観葉植物の植え替え・仕立て直し講座 ①10:30～②14:00～
10日(日)	●園芸講習会 講師：倉林 雪夫先生(赤塚植物園) 参加無料 これからの暑い夏に楽しむ植物のご紹介 ①11:00～②14:00～
17日(日)	●寄せ植え教室 講師：西本 敬子先生 3,000円 小さな森のテラリウム ①10:30～②14:00～
23日(土)	●創作盆栽教室 講師：島岡 洋介先生(プロギムガーデン) 2,500円 涼風とモダンな創作寄せ植えを作りましょう ①10:30～②14:00～

オトクな1割引デー

4日(月)	鉢花各種
14日(水)	コリウス
18日(日)	観葉植物
27日(水)	熱帯スレニ
29日(金)	多肉植物

ポイント2倍デー

7日(木)・21日(木)

今、あの植物がこんなことになっている…!?
植物たちのリアルタイムな情報をご紹介します

がとっても◆◆です!!

夏の植物の出荷がとっても大忙しです!

園芸業界という、1年間で母の日がもっとも忙しいのはとても有名なお話ですが、私たち赤塚植物園の生産農場では、実は初夏が一番忙しいんです。

赤塚植物園の第一農場では夏の大人気植物「タイタンピカス」の出荷がピークになり、第二農場では「熱帯スイレン」の出荷が急激に増加します。

前年の秋から春にかけて仕込んだ苗や球根たちが、初夏の気温の上昇とともに芽を出して今急激に生育を始め、生産担当者が出荷される苗を一つ一つ選んでまわっています。

生産鉢から新しい綺麗なポットに着替え、傷んだ葉や茎をお掃除して、可愛いラベルが一つ一つ丁寧に付けられていく様子は、お嫁に行く娘たちさながらです。まさにジューンブライドラッシュ…ですかね?

フラワーショップ花の音でも熱帯スイレンやタイタンピカスをお届け中です。さらに、夏に「涼」を届ける毎年大人気の吊りしのぶや、美味しそうな実付き柑橘もご注文受付中です!

2018年6月

夏の植物たち



タイタンピカス

全14品種

▲ check! ▲

熱帯スイレン

全19品種

▲ check! ▲

涼を呼ぶ
つりしのぶ

全9種類

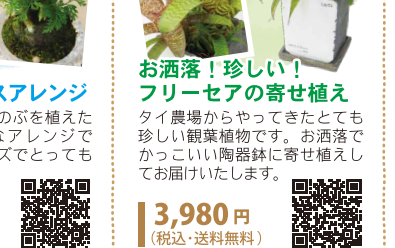
▲ check! ▲

おいしい!
実付き柑橘

全13種類

▲ check! ▲

※柑橘はどの品種も青い実の状態でお届けとなります。



※どの商品に関してもHPにて詳しい情報をご確認の上、ご注文ください。

花の音
セレクション



QRコードで掲載商品を確認できます



今年も大人気!
カラフルサルズベリ

今年のサルズベリは、ピンクと赤の二色植えがおすすめです! その他全8商品掲載中!

1,000円~ (税込・送料別)



味も見た目も最高!
実付きデラウェア

ぶどうと言えばやっぱりデラウェア! 目の前で色づいて美味しそうな香りが漂ってくる様子を楽しまませんか?

3,800円 (税込・送料別)



涼を届ける
しのぶのガラスアレンジ

ガラス製の器にしのぶを植えたとっても涼しげなアレンジです。手のひらサイズでとっても可愛い逸品です。

2,800円 (税込・送料別)



お洒落! 珍しい!
フリーシアの寄せ植え

タイ農場からやってきたとても珍しい観葉植物です。お洒落でかっこいい陶器鉢に寄せ植えしてお届けいたします。

3,980円 (税込・送料別)

バラ担当の
マジ押し!
オススメ
ソール

2018年6月



FFCパビリオン バラ担当
青木太郎

天然活性肥料

「バイオゴールドセレクション 薔薇」

一番花、品種によっては二番花も咲いた品種もあるのではないのでしょうか。そんな四季咲きバラですが、その後のお手入れは進んでいますか?

花摘み剪定、薬剤散布、そして施肥が必要です。花後の施肥は「お礼肥え」とも言われ、特に四季咲き性の強いバラを育てるには必須の作業です。

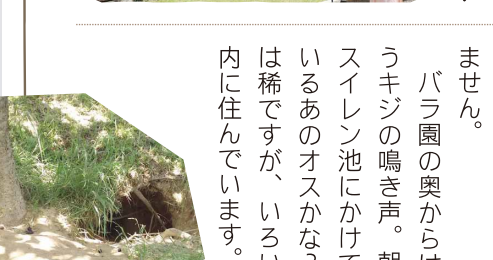
数ある製品の中でいつもオススメしているのは有機肥料です。有機肥料は土壌の中の微生物に分解されてバラ達が吸収できるようになります。その過程で土壌の団粒構造が形成され、いわゆる『フカフカの土』になります。

その有機肥料の中でもイチオシなのが、真っ赤なパッケージが目立つ「バイオゴールドセレクション

薔薇」です。オススメ理由を挙げると書ききれない程ですが、花付きを良くして、株の状態を良いコンディションで保ってくれます。

バラを手に入れたとき「四季咲き性」を気にしない人はいないと思います。これからの時期は手入れをした分、バラは、花で応えてくれます。

少しずつでも四季咲きバラが咲くようにお礼肥えを与えてみましょう。



初夏の園内でたくさんさんの白花を咲かせているヤマボウシ。新緑によく映えてとても爽やかです。葉っぱの上に花が咲くため、近くよりは少し離れたところから眺めるとよいです。

雨の日は枝が重みで枝垂れて花がよく見えるようになり存在感が増し、濡れた花や葉の雰囲気もなかなかよいです。園内には白花のほかには花色がピンクの品種や常緑の品種も植栽してあります。

また、時折開催される「森のコンサート」は屋内で聞くのとはひと味違った音色で、みなさんとても感激されています。

小鳥のさえずりに吹き抜ける風。レッドウッド(センパルセコイア)の大木に囲まれた癒しの空間。「森のゾーン」の象徴的なこの場所は隠れた人気スポットで、休憩やお昼寝、読書などみなさん思い思い過ごされています。散策に疲れたときはここでリフレッシュしてみてください。

今度はサクラの木の下に大きな穴を発見! もしかすると近頃夕方によく見かけるキツネの親子の住まいかもしれません。

バラ園の奥からは「ケンケン」というキジの鳴き声。朝と夕にバラ園からスイレン池にかけてパトロールをしているあのオスかな? 日中に出会うことは稀ですが、いろいろな動物たちが園内に住んでいます。

百花生の賑やかな春から少し日が経ち、園内が少しずつ落ち着き始めます。花もスイレンやアジサイなど、おしとやかな雰囲気のものが増えてきます。花と緑と風のバランスが程よく「里山」らしさを感じるにはおススメの季節です。

爽やかなヤマボウシ

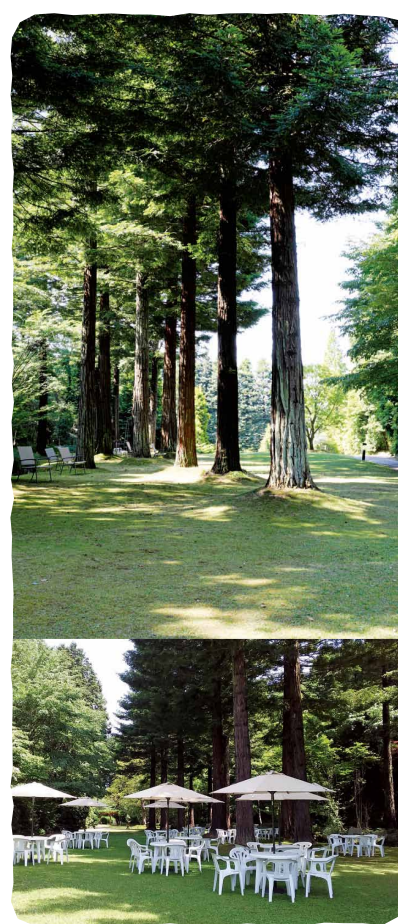
レッドウッドの森で森林浴

園内の住人



2018年6月

「里山」の魅力が
もりだくさん!



ヤマボウシ



アガパンサス



アナベル



アスチルベ